

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1023））
2. 日時：平成30年6月8日 18時33分～18時53分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任 他1名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 原子炉冷却系統施設のうち 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（代替循環冷却系）（添付書類）
- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 原子炉格納施設のうち 圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）（添付書類）
- ・V-1-4-1 原子炉格納容器内の原子炉冷却材の漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（原子炉冷却系統施設）のうち原子炉格納容器内の原子炉冷却材の漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 補足-190-6【原子炉格納容器内の原子炉冷却材漏えい監視の評価時間について】
- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-2【応力解析における

モデル化、境界条件及び拘束条件の考え方】

- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-4【地震荷重の入力方法】
- ・ 東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 基本設計方針
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 要目表関係（本文、添付書類）